



拾いの美学 木村昭平展

絵画、絵本原画から拾い集めたモノまで
2010年2月13日(土)～3月28日(日)

休館日=月曜日(ただし3月22日は開館)、3月23日(火) 会場=刈谷市美術館1階(第1展示室、特別展示室、1階ロビー)
入場料=無料 主催=刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館 協力=中村正義の美術館、柴舟画廊

刈谷市美術館
KARIYA CITY ART MUSEUM



木村昭平親筆書「拾い倶楽部」 監修・企画 堀久

Shohei Kamura

木村昭平(1949- /刈谷生まれ)は、貧しくとも愛に満ちた実生活や世界の文学・宗教から湧き上がるイメージなどを、サイケデリックな色彩によって画面にぎっしりと描き込んでいくユニークな画家・絵本作家です。「私の絵は心の中にあるものを拾い続ける作業」と語る木村が展開してきた奔放でプリミティブな表現は、人間の存在を不思議な物語で綴る『ポポリン』やイースター島を舞台にした『大きな石のモアイ』など、絵本の世界でも特異な魅力を放っています。本展覧会では、初期から近年までの主要な絵画作品や絵本原画、版画、オブジェなど約100点のほか、彼が長年にわたって拾い集めたさまざまなモノを用いたインスタレーションも合わせて展示します。「拾い」を美学に昇華させようとする奇想天外な木村昭平ワールド。それは、新たな価値観との出会いになるでしょう。



1



2



3



4



5



6

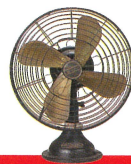


7

1.《家族》1973年頃/刈谷市美術館蔵 2.《毘留善麻利耶》1974年頃 3.《亡国王一家》1977年/中村正義の美術館蔵 4.《カーニバル》1978年/豊田市美術館蔵 5.《絵本『とらとふえふき』原画》(再話=金恵京、福武書店)1983年 6.《絵本『大きな石のモアイ』原画》(福武書店)1989年/刈谷市美術館寄託 7.《絵本『オッセルと象』原画》(文=宮沢賢治、福武書店)1991年/刈谷市美術館蔵

拾いの美学 木村昭平展

絵画、絵本原画から拾い集めたモノまで



会期中のイベント

1. アーティスト・トーク 2月20日(土) 午後1時30分~3時頃

「私の絵はΨ(波動関数)であり、拾いはリアリティーである」とする作家自身に、「描く」行為について、また独特な価値観にもとづく「拾い」の実践から美学までをじっくり語っていただきます。

会場=刈谷市美術館 2階研修室 定員=60名 参加無料(申込不要)

※当日、直接会場にお越しください

2. 昭平さんとお散歩~「梁塵倶楽部」訪問 2月27日(土) 午後2時~4時頃

刈谷に在住し続ける作家と一緒に、美術館周辺を拾い散策しながら、別邸書齋「梁塵倶楽部」を訪問。拾い集められた驚きのコレクションの全容をご覧いただけます。

定員=6名 対象=18歳以上の方 参加無料(事前申し込みが必要です)

申し込み方法=「往復はがき」か「Eメール」にて、プログラム名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL、年齢を記入のうえお申し込みください。なお、「Eメール」の場合は件名を「参加申し込み『昭平さんとお散歩』」とし、「往復はがき」の場合は返信用はがきにも住所と氏名を記入してください。

※定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします

締め切り=2月14日(日) 必着

申し込み先=刈谷市美術館 〒448-0852 刈谷市住吉町4-5 Eメール bijyutsu@city.kariya.lg.jp

※個人情報、本プログラム開催に必要な範囲内のみで使用します

チラシ表.《絵本『ポポリン』原画》(福武書店)1985年



[交通の案内]

電車 JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分
※JR名古屋駅から刈谷駅までは快速などで約15分

車 名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)
「一ツ木IC」より約5キロ ※駐車場60台(無料)

刈谷市美術館
KARIYA CITY ART MUSEUM



[右のQRコードから美術館モバイルサイトに簡単にアクセス]

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL:0566-23-1636 FAX:0566-26-0511
<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>